

# 令和6年度 第2回校内研究会 第3学年授業公開資料

授業公開:令和6年6月26日(水)

授業公開週間:令和6年6月24日(月)~28日(金)

教科	単元	非認知能力の視点 (「学びに向かう力、人間性等の育成」について)
国語	『挨拶』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業全体を通して、他者の考え等を聞き自らの初読の考えを修正していく。</li> <li>・「挨拶」という題名の意味を考え、詩の意味を深く考察する。</li> <li>・話し合い活動を通して、他者と共同する力を養う。</li> </ul>
社会	第一次世界大戦後の欧米諸国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史上のできごとを、現代を生きる自分にも関わることとして捉えさせる。</li> <li>・自分の考えを、グループの中で伝える力を付けさせたい。</li> <li>・世界の歴史と日本の動きが関わり合っていることを捉えさせる。</li> </ul>
数学	方程式(復習と解の意味の確認) →二次方程式の準備	<p>生徒同士の教え合い(話し合い活動)を通して、集団で学習する。個々が考える学びの方法の確立させる。</p> <p>→・今は集中して、一人で考えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と相談して考え方や答えを確認したい</li> <li>・全体指導の中から方法を学び、一緒に確認したい など</li> </ul>
理科	第3章 化学変化と電池 第2節 金属のイオンへのなりやすさの ちがいと電池のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科を楽しんで学んでほしい。教員も明るく授業を展開する。</li> <li>・自然の事物現象に興味を持ち、好奇心をもって探求させる。</li> <li>・実験結果や既有知識、自身の経験などを加え、根拠を明確にしながらか自身の考察を文章や言葉で表現させる。</li> </ul>
保健体育	球技「バレーボール」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアなプレイ大切にしようとする</li> <li>・作戦などについての話し合いに貢献しようとする</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとする</li> <li>・健康・安全を確保すること</li> </ul>
家庭	(1年)「地域の食文化」  (2年)「こんなにおいしい魚の調理」	<p>(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる地域や住んでいた地域など自分の興味のある都道府県の郷土料理を調べようとする</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食(命)を大切に扱おうとしている心を育む。</li> <li>・班で協力しようとする力を育む。</li> </ul>
英語	Lesson3 The Story of Sadako	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からないことに対して自ら向き合い、課題を解決しようとする力を育む。</li> <li>・それでも分からなかったときは友達、教員に質問をすることができる。</li> <li>・主体的に英語学習と向き合おうとする態度を育む。</li> </ul>

3年 C組 社会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入部3分間での復習が端的である。</li> <li>・ポイントを伝えるとき集中させることが大切である。</li> <li>・グループワークの役割分担がスムーズ、発表を含め場慣れしている             <ul style="list-style-type: none"> <li>→一人一人役割があるため、責任感から学ぼうとする意欲が高まる。[主体性]</li> <li>→今までの積み重ねを感じた。</li> </ul> </li> <li>・書く、話す要素を1時間の中で必ず盛り込んでいる。</li> <li>・2人、3人、クラスの誰でもよいので聞いてくる。</li> <li>・点数を自分で決めて配点していく。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→点数化することでより具体的に考えられ、文章でまとめることは、記憶に定着しやすく、背景を理解しやすい</li> </ul>             [探求心]         </li> <li>・活動内容の掲示や板書が見やすい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ICT・黒板・プリントの活用</li> </ul> </li> </ul>	

3年 B組 英語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雰囲気が良い。笑顔、真剣に取り組む様子、よく質問も出ている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→普段から言えない生徒もいるけど、できる生徒もいる。</li> </ul> </li> <li>・シャドーイング、リテリング初めて。見ないで英文を追って、発音したり、イメージを英語にして伝えたり。意欲的に取り組む様子。三年間の積み重ねが出ている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→全体を通して「自分たちで」「協力して」やろうというのが生徒たちから伝わった。                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに課題がある子のところにも教員からだったり、生徒から動きがあったり、自由のグループ2人に限らず、自由なグループで(人数も)できる。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・リテリング中…例えば from にできた英文を入力、TV のスプレッドシートに全体シェアすると終えた子もやることができる。もったいない時間がなくなる。</li> <li>・与えても受け取る気がないと意味がないので生徒から来させる。「自らやる」を引き出す。3年生になって声が出るようになった。前向きな姿勢が良い。</li> </ul>	

3年 E組 保健体育	
<p>(1)ミスしても大丈夫な雰囲気づくり、ミスしてもボールに触りにいく姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な指導による効果(準備・片付け・授業規律)</li> <li>・話し合い、作戦会議の作り方</li> <li>・生徒同士の温かい声掛け、チーム内での助け合いや協力</li> <li>・安全、安心</li> </ul>	

<p>(2) 授業規律や<b>技能以外の面</b>(あいさつ、礼儀など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示の出し方(シンプル)</li> <li>・前向きな声掛け、自分も楽しんで授業に臨む、選択肢を与える <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション、協力、助け合い</li> <li>・見通しをもって、安全、安心に</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 褒めるポイントを探し続ける 技術 専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に<b>合わせた</b>アプローチ</li> <li>・作戦板など、<b>器具</b>教具の有効活用</li> <li>・授業規律、あいさつ</li> <li>・入念な準備</li> </ul>
--

3年 D組 理科	
<p>・難しい内容でも半で話しながら作業をしたりプリントを埋めたりしていくことで協働性、コミュニケーション力を養うことができたのではないかな。</p> <p>・リードする生徒がいるおかげで、考えていることを整理することができた生徒もたくさんいた。</p> <p>・実験をおもしろいと思っているから学びに向かうことはできているが、<u>何のために実験をするのかが捉えられていなかったのでは。</u></p> <p>・教科書を開いて、ずっと見ている生徒や、動きが少ない班があった。 →質問(何を考え話し合うのか)を明確にするのがよいのでは。</p> <p>・言われたことはきちんとやろうとするが、「自分から作っていこう」ということが難しい。後半はあきらめモードに… 「がんばらせる」「考えさせる」ことをしっかりしていかななくてはならないのでは。 そのためにも既習事項をしっかり押さえなくてはならないのでは。</p> <p>・考えさせる準備をしっかり仕込んだ上での実験、課題に向けて「どのような実験をすればよいのだろう」考えさせるなどが必要である。</p>	

3年 A組 数学	
<p>・授業の目標を一つにせず、個々それぞれの目標に向かえるように考えた。</p> <p>・1、2年の復習から始まり、発展に向かう。</p> <p>・友達の力を借りながら、自分の目標に向かう形になっていた。</p> <p>・話し合いをすることよりも学びに近づくが、誰に話しかけるかも大切だと考えてみていた。</p> <p>・友人の書いたものをそのまま書いている生徒もいたが、それはいいのか。判断はいろいろだと考える。</p>	

# 令和6年度 第4回校内研究会 第2学年授業公開資料

授業公開:令和6年10月23日(水)

授業公開週間:令和6年10月23日(水)~28日(月)

教科	単元/題材	主体性を高め自ら進んで行動できる生徒の育成「自分の考えをもち、自分の言葉で表現し、行動にうつす活動」について
国語	漢字2 同じ訓、同じ音をもつ漢字	ロイロノートで問題を作り、解き合う。
国語	文法 用言の活用(形容詞・形容動詞)	ワークシートで基本を学び、テキストで確認(班学習)振り返りを記入し、班内で共有する。
社会	地理 近畿地方	パワーポイントで説明しながら、ワークシートに取り組む。ロイロノートをを用いた話し合いや意見交換を行う。
数学	合同な図形	必要なことから学びそれらを使って活用することができるようにする。
理科	酸化物から酸素をとる化学変化 単元1 第3章 第2節	酸化銅から取り出す方法を考え、話し合う。 協力して実験を行い、化学変化を粒子モデルを活用して考える。 また、自分の考えを他者に伝える。
音楽	合唱活動	ルーティンで自主性を育てる。失敗と学びの経験。褒めるより共感。ひかえめな教員の存在。自分たちで道具を扱い、知識を扱い、選択しながら協同して学ぶ環境づくり。教育するという発想の見直し・観察。努力は好きにはかなわない意識付け。
保健体育	バスケットボール ミニゲーム	チームの課題を共有し、練習方法を考える。 自分の考えを他者に伝え、練習やゲームの中で実行していく。
保健体育	傷害の原因と防止 交通事故の現状と原因	自分の体験について話し合う。
英語	Lesson 5 Get I Things to do in Japan	自分たちで考えたアンケートの結果について、学んだ表現(比較・最上級)を用いて伝える。(ロイロノート)

2年 A組 保健体育	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムの前から始まっていた。→やる気がある、たくさんやりたいと思っている。</li> <li>・練習プランを自分たちで考える。→上達しやすい。</li> <li>・チームごとの目標設定             <ul style="list-style-type: none"> <li>→具体的なチームとそうでないチームがあった。具体的な方が振り返りや声掛けがしやすい。</li> </ul> </li> <li>・練習メニューの具体例を挙げてあげると生徒も選びやすかった。</li> <li>・メニューをホワイトボードに書いて視覚化することで意識しやすい。</li> <li>・ボールに関わる生徒が多い。普段の授業や指導のおかげ、男女仲がよい。</li> <li>・本時までに時間をかけて各技能に対するメニューを提示し、取り組んだおかげで、今日自分たちで目標に向けたメニューを選択することができた。</li> <li>・目標を受けたふりかえりをするためには、客観的に自らを見る必要がある。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→そこを教員が具体的に各チームを褒めたことで、生徒の自己理解につながったと思う。</li> </ul> </li> </ul>	

2年 B組 社会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への問いかけをしながら進めている。</li> <li>・ロイロノート、カフトを使用している。</li> <li>・既存の知識の振り返りを行っている。</li> <li>・多彩な資料で興味をひきつけている。</li> <li>・小平市の現在や小平市の話題を取り入れ、生徒も考えることができている。</li> <li>・生徒の生活に沿った内容も取り入れている。</li> <li>・指示にも的確に反応して生徒がよくできていた。</li> <li>・クラスの雰囲気もよかった。</li> <li>・めあてに向き合わせる方法の工夫をする。</li> <li>・生徒の活動に重点を置く方法に意識を向ける。</li> <li>・学習の終わりにワークノートを使ってアウトプットをするようにしている。今後の成績に反映するか見ていく。</li> </ul>	

2年 C組 音楽	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声練習やパート練習等ルーティン化されている。</li> <li>・パート練習がパートごとに自主的にやれている。</li> <li>・スプレッドシートを使った自己評価、反省を積み重ねていける。</li> <li>・先生は見守っている。生徒が困って聞きに来たら教える。</li> <li>・生徒が疑問を口に出せるようにさせている。</li> <li>・ルーティン化されているから、すぐに行動に移せる。主体的に動ける。</li> <li>・教員から提示されたことに「自主的」に取り組めているが、「主体的」に学ばせるのは難しい。</li> </ul>	

2年 D組 国語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に疑問をロイロノートに出して、みんなで考えた。→3つの疑問を考えた。(クラス差が出た)</li> <li>・初読の感想と比べる。→自分自身の成長(変容)の記録をする。</li> <li>・クラスルームに良かった意見を載せる。</li> <li>・ロイロノートは、付箋の代わりになる。</li> <li>・グループワークが効果的である。</li> <li>・ワークシートは、捉えているところが一人一人異なるところが浮かび上がってくる。</li> </ul>	

2年 E組 英語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れ、テンポがよい。</li> <li>・クイズ、発表、生徒が楽しんで学んでいる姿が見られた。</li> <li>・テンポについていっている。</li> <li>・支え合うことへの困難さ、習熟度を加味した少人数もありか検討する。</li> <li>・どこどこを組み合わせるかが課題である。</li> <li>・助け合いと深め合いの両立が大切である。</li> <li>・手をかけるべき生徒へのフォローの仕方が課題である。</li> </ul>	

指導・助言	小平市教育委員会
<p>&lt;岡崎指導課長より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり準備がされていた。</li> <li>・印象的だったと、生徒によく考えさせていた。主体的な学びに結び付く。</li> <li>・ロイロノートは環境による不具合もあるが、工夫して活用していくことが大切。</li> <li>・先生が楽しそうに授業をしていたことがよかった。</li> </ul> <p>&lt;これからの時代を生きる子どもたちと先生に&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい時代の力に新しい力 →今までも必要な力だった。</li> <li>・学びに向かう力を身に付けること</li> <li>・アップデートすべきは指導観、生徒観、授業観</li> <li>・認知能力と非認知能力を相互に意図的に高められるように行う</li> <li>・「1年後はこんな生徒を育てたい」というゴールを決める。</li> <li>・成果で何を見るのか考えるとき</li> </ul> <p>&lt;成田指導主事より&gt; (各授業に対するコメントをいただきました。省略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、授業規律がよかった。話し合い活動がされていた。</li> </ul> <p>&lt;山下統括指導主事より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ティーチングではなくコーチングができていた。個別の声掛けが大切である。</li> <li>・授業をしているときの声掛けを考える。</li> <li>・リフレーミングの視点→マイナスをプラスに言い換える。</li> <li>・校内研究とは共通する課題を解決すること。</li> </ul>	

# 令和6年度 第6回校内研究会 第1学年授業公開資料

授業公開:令和7年2月12日(水)

授業公開週間:令和7年2月10日(月)～14日(金)

教科	単元/題材	主体性を高め自ら進んで行動できる生徒の育成「自分の考えをもち、自分の言葉で表現し、行動にうつす活動」について
国語	『少年の日の思い出』 作品全体に関わる問いについて考える	・フォームによる意見提出を行う。 →問いに対する自分の考えを文章にまとめ、表現する。 ・振り返り →単元を通して学んだこと、自分の変容を記録する。
社会	戦乱から全国統一へ	・意見を伝え合う ・今日の授業で分かったことを文章に書いて表現する。
社会	ヨーロッパ州の自然環境	・ニュース発表 →自分の考えについて自分のことばで発表する。発表された内容について自分の考えを文章で書く。 ・振り返りシート →今日の授業で大切だと思ったことや理解できたことを自分の言葉でまとめる。
数学	比例と反比例の利用 式・表・グラフから考える	・グループ活動、発表 →考え方を自分のことばで表現する、伝え合う。 ・振り返りシート →今日の授業で大切だと思ったことを自分なりにまとめる。
理科	地震の波の伝わり方 (実習1)地震のゆれ始めの時刻と震度の分布を調べ、ゆれの伝わり方の特徴を知らべる。	・グループ学習 お互いに教え合い、地図上に色を入れ、図を完成させる。 ・考察 地震のゆれの伝わり方の法則を考え、言葉で表現する。
美術	空想画	平面作品の制作 プリントで習った技法を用いて自由な発想を表現する。
保健体育	球技 サッカー	コート内での空いているスペースの活用 ボールを持っているとき、持っていないときの動き方を考える。
技術	材料と加工の技術を活用する 3DCADの設計(2)	3DCADによる設計 →身の回りの問題を解決するための製品の設計を通して自分の考えをかたちにする。 作業記録による振り返り →その日の作業の振り返りをし、次回の作業の目標を立てる。
英語	・「憧れの人を紹介しよう」発表  ・スポーツ選手のインタビューのポイントを聞き取る	・スピーチ →自分の考えたことを簡単な英文にして発表する。友達の発表を聞いて、内容や発表の様子についてよいところに気付き、自分のことばでまとめる。 ・グループ学習 →聞き取った内容について友達と共有する。台本に読み方の特徴を書き込み、気が付いたことを共有する。

1年 A組 社会(地理)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレポート:3年間続けると書く力がだいぶ付く。考えるくせが付く。まねたいがチェックなどが不安である。</li> <li>・スライドがピンポイント(グーグルアース、写真)で効果的に活用している。</li> <li>・洗練されている。長さを感じさせない授業。説明の部分もしっかり頭に残る。間合い◎である。</li> <li>・ビンゴ:楽しみながら学習できる。</li> <li>・プリント作成のコツ:板書1枚でプリント1枚分にする。</li> <li>・説明について:こども向け番組(E テレなど)は 15 分。こどもが集中できるのはおよそ15分と捉えて、50分の授業の中で説明は15分で収まるようにしている。</li> <li>・用語について:いろいろおさえるべき用語はあるが、自分の授業だけで完結せず、他教科にも頼る!</li> <li>・生徒の発言を取り上げて、スライドに生かしている。テンポがよい。話し方もよい。間違ってもいいんだと思えるような安心した雰囲気がある。</li> </ul>	

1年 B組 数学	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を映していて分かりやすかった。</li> <li>・ペアでの活動(説明をし合う)、フリーグループでの相談、3~4人組でのまとめなど、内容によって身に付き方が違う。</li> <li>・話し合いのきっかけづくりがよかった。</li> <li>・[相談]+[グループ]で手厚く話し合い活動をしていた。</li> <li>・ペアの話し合いのルールはあえて弾力的にしている。</li> <li>・話し合いの練習を兼ねていて、徐々に話し合えるようになってきている。</li> <li>・授業のはじめ5分間の活用:全体としてはワークの問題をタブレットで解く(進み具合を教員がチェックできてよい)。宿題にもしている。字を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい。授業環境を整える時間でもある。</li> </ul>	

1年 C組 社会(歴史)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意見を聞いて、それを基に流すところがすごい。</li> <li>・映像、スライドなどクロームブックが様々な場面で使われていた。5分間読む時間をとってすごい。生徒同士の関わりが多かった。</li> <li>・流れが分かりやすい。やることが明確。PC を開かせるタイミングを指示したら、聞けない生徒が減るのではない。まとめはグループではなく前を向かせる。グループと個を切り替えて分ける。</li> <li>・時間をしっかり取っているというのが印象的。知識の伝達になりがちところで時間をとり、調べてグループワークにしている素晴らしい。時数はどうしているか→特に意識していない。活動時間と伝達時間になっている。</li> </ul>	

1年 D組 美術	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術では自分の心の中で考えたものを絵で表現する。言葉では表現できないか、発表にもっていく。</li> <li>・自分の好きなものをかけている。</li> </ul>	

→考えている意図を言葉にさせるところがいいところ。発表を入れるのもいいと思う。

→技法の確認をもう一度導入でするのもいいのでは。

→プリントの工夫で、時間の区切りが板書されていて見通しをもちやすくなっていた。

・生徒に声をかけてモチベーションを上げていく。作ったものをそのままにせず、発表させるとより考えて表現できる。

→指示の出し方の工夫が実技は参考になる。

→時間は短い。作業時間を長くするには、工夫が必要。

→見通しをもたせる。めあての設定とどんな力が身に付くのかを考えなければいけない。

1年 E組 技術

・計画を立て、見通しをもって作業を行うことで非認知能力を高める。

・前時までで行き詰まる生徒は、作業が難しいと考えている。それを自分の言葉で表現する機会をもつ。

・現代的な活動である。

・何度も失敗できる。試行錯誤は効果大きい。

・段階を踏ませることができる。

・教科や単元の特性上、測ることのできない観点(自分の言葉で表現)がある。

1年 F組 国語

・個人で考える時間をしっかり確保できていた。

・「心情は自分の言葉で」「テストをします」の指示は、生徒に対して考える機会を与えている。

・生徒から考えが出ないときの投げかけ方は、ヒントを与える、周囲の人と話合わせるなどの方法がある。

・早く活動を終えてしまった生徒への手立てとしては、漢字ノートやワークに取り組ませる。答えの視点を増やせるような助言を加える。

・難易度が示してあり、生徒にとってわかりやすい。

・振り返りの際に、視覚的補助があるとよい。パワーポイントの使用、画面に残っている状態にするとよい。

指導・助言

小野江 隆 先生

<各授業について>

歴史:秀吉と信長からトランプ、石破、映画までつながっている。なぜ統一できたのか、ブレーンがいたのか。

数学:数学的な表現は小学校(アレイ図・団子図・線分図など)からつながっている。論理的な考えは数学的な言語を使うことで身に付く。式・表・グラフを生徒が選べるのも良い。

地理:ビンゴがおもしろく、こどもも好き。興味や関心が向いていく。パリは寒く、ニースは暖かい(実際に行ってみた)。今の日本でも大雪の地域があるが、東京は違う。山脈の大きさが感じられる。

国語:対話や机間指導がある授業→他の教科に活かされている。先生から出す課題はこの授業でおさえたいところ。生徒から取り出す課題は、生徒に返す課題になる。生徒から出してくる言葉から学んでいる。

技術:3DCADについて、時代が変わった。PCがよく動く。「役に立つもの」や強度といった制約がよい。生徒が工夫する、考えることができる。

美術:どうしてその手法を使おうと思ったのか、その過程でどうなったのか生徒に聞きたくなる授業。効果を出し

ている作品を紹介するのもよい。

・学校全体で同じ方向を向いて授業に取り組んでいる。

→自分の考えをもつ、共有する生徒。これからの世の中に求められている。学校としてどのような生徒を育てていくのかが見える。

・先生方は自身の非認知能力についてどう考えているのか、すり合わせが大切である。

・自分の教員人生は自分で決める。足跡を付ける。

・校舎内に教科を超えた活動が見える。枠を超えるというのは自分のステージ以外(周縁)から発信するすべ。

・実体験として何をしてきているのかが知りたい。生徒に働きかける前に先生が変わること。

・生徒の生活からスタートをすることでわかる 生徒の一言から「全然違った」と思える。

・ボスマネジメント(強制的アプローチ) 刺激I → 反応I

・これに対してリードマネジメント(生徒がよい選択をする) 刺激I → 生徒それぞれの反応

・「君ならどうする」「どうしたかったの」「なんでそう思ったの」「どうしたいの」「どうなりたいの」の問いかけが有効である。

・リーダーシップを育てるよりも担ぎ上げた周りをとにかく褒める。「みんなで協力しよう!」

・周りから認められるきっかけをもって始めて変わった。

・農業では土寄せをする 愛情を寄せる 周りから働きかける。

・野菜はその後どうなるのか お店で調理されて食べる人がいて、その感想が知りたい。

・苗床でなかなか伸びないとき、土が変わったら突然元気になるかもしれない。

・合意形成を通して、共感力(共有と対話)を高める。伝える・受け止める活動で相手の良さを知る。

・答えのない問題に対して最適解を求める。

・校内研究に対しての行動目標(理由添えなど)があるとよい。

# 令和7年度 第2回校内研究会 第3学年授業公開資料

授業公開:令和7年7月2日(水)

授業公開週間:令和7年6月30日(月)~7月4日(金)

教科	単元/題材	主体性を高め自ら進んで行動できる生徒の育成「自分の考えをもち、自分の言葉で表現し、行動にうつす活動」について
国語	「俳句の可能性」「俳句を味わう」	・俳句を自分なりに味わい、ロイロノートを使って鑑賞スライドを作る。
社会	「近代日本を支えた糸と鉄」	・日本で起こった「産業革命」による工業の変化、そこから生まれる課題と、その解決に向けての取り組みについて、グループで話し合い、ロイロノートを使って発表する。
数学	2次方程式	・2次方程式を使える場面を考え利用できるようにする。
数学	垂直二等分線の作図	・垂線の作図の考え方を利用して、周りの人と意見を出し合いながら垂直二等分線の作図方法を見付ける。
理科	化学変化と電池	・問題を解決するための手立てを、周りの人と協力して考える。
音楽	混声4部合唱「大地讃頌」	・リーダーを中心に、周りの人と協力してパート練習を行う。
保健体育	バレーボール	・自分たちが決めたルールや失点の原因を班ごとに考える。
英語	Goal Activity 最近夢中になっていることは?	自分の考えをどのような表現を使って、周りの人に効果的に伝えられるか考える。(ワークシート Writing)
英語	Goal Activity 最近夢中になっていることは?	自分の考えをどのような表現を使って、周りの人に効果的に伝えられるか考える。(ワークシート Writing)

3年 A組 社会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートを使っての話し合い活動について、学びが深められたか、先生方の意見を聴きたい。</li> <li>・3年生になり頑張っている姿が見られ、成長を感じた。</li> <li>・ロイロノートを使うことで、同じ年代の友達がこういうことを考えているなど感じられる。</li> <li>・時事的なものを考えさせる、キーワードを与えて考える、自分の言葉で感想や意見を言わせていた。</li> <li>・グループの時間が少し短い。最初に個人の意見を考えさせて、グループでやるとよい。</li> <li>・テレビ、教科書、ノートなど様々なツールを使っていたが、生徒はしっかりと取り組んでいた。</li> <li>・ロイロノートで強調するところを太字にするなど、書いて発表するより表現しやすい。</li> </ul>	

3年 B組 理科	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉で考える時間を多くとるようにした。</li> <li>・間違ってもいいから自分で考えるということを高めていきたい。</li> <li>・グループでの話し合いの場面での机間指導をどうしたらよいか。</li> <li>・デジタル教科書が活用されていた。</li> <li>・自分が書いたものを見返す時間をとり、前日の復習を行っていた。</li> <li>・前回とのつながりから今日の目標を設定していた。</li> <li>・なかなかやらない生徒や、苦手意識のある生徒から指名することで、全体にも安心感が生まれていた。</li> <li>・単語を聞くのではなく、説明させることや選択肢を与えることで、自分で考える力や発表力を高めていた。</li> <li>・9グループ見る(机間指導)が大変。特にできないグループに対してどうフォローをしたらよいか。</li> <li>・班決め(席替え)の段階で、6人班と4人グループどちらも想定して決められるとよい。</li> <li>・話し合いに入る前のベースをそろえるのがよい。(外国籍の生徒も)</li> <li>・司会や順番を決める。</li> <li>・教員がいきなり回らず、全体を見渡して、声をかけるグループを決める。</li> </ul>	

3年 C組 保健体育	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームに対してクラスでルールを決める取組をしている。</li> <li>・失点の原因を考えて、練習方法を考える。</li> <li>・曲を使って楽しくアップしていた。</li> <li>・班で話し合う場面が多く設定されていた。→考えを伝え合う、行動する。ということにつながる。</li> <li>・今回の「めあて」をしっかりと明確になるように共有できるとよかった。</li> <li>・クラスで決めたルール(キャッチ、サーブ2回、など)によって参加がしやすくなっていた。自分たちで決めたルールだから守りやすい。</li> <li>・すべて教員が設定するのではなく、生徒が自分たちでスモールステップを設定できていた。</li> <li>・この先の目標(ゴール)は何か→少しずつ正規ルールに近づけられるとよい。</li> <li>・三段攻撃が少なかった。</li> </ul>	

3年 D組 音楽	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地讃頌の練習 リーダーを中心に音の強弱や音の長さについて一曲終わるごとにリーダーが声をかけている。</li> <li>・リーダーを育てていきたい。</li> <li>・他の生徒はふりかえりカードを書くことで力を付けていく。</li> <li>・指示がわかりやすい。</li> <li>・1回の活動は長くて10分にしている。</li> <li>・流れがホワイトボードに書いてある。→手書きが伝わりやすい。</li> <li>・古文の群読(グループ活動)の参考にできそう。</li> <li>・先生が褒めていて、一緒にできる。</li> <li>・ぼーっとしている時間がない。</li> <li>・作業前にポイントを伝えていた。</li> <li>・教員の声が大きくて元気がある。見本を見せていて良い。</li> <li>・小さなことでもどんどん書いていた。</li> <li>・リーダーは曲ごとに変えないが、ローテーションでもよい。</li> <li>・生徒が活発に練習していた。</li> <li>・後半、次回の練習に向けて反省を入れていて良かった。</li> </ul>	

3年 E組 英語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が夢中になっていることについて、スピーチを行う。</li> <li>・撮影して提出させる課題で、生徒の自由度(内容、場所、表現)が高い。</li> <li>・他教科でも発表できるのか。挑戦してみたいと考えさせられた。</li> <li>・映像によるデモンストレーションなど、英語のデジタル教科書は進んでいて、よく活用されており、生徒が自分の意見をもってグループ活動に取り組みやすくなっていた。</li> <li>・グループワークやペアワークを繰り返すことが、飽きにくくて良い。</li> <li>・グループワークを繰り返し、長い時間取り組むことができていた。自分で主体的に活動したり、意見をもてるような発問の工夫をしたりすることが大切だと改めて考えさせられた。</li> <li>・ウォーミングアップなどで、クイズ形式の問題に取り組んでいる(ロイロノート)。</li> <li>・ロイロノートで作成することができるので、生徒自身が本時のことをもとに、問題や考えられる解答を作らせるという取組も主体性を高める活動になるのではないかと。</li> </ul>	

国語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動に参加できない生徒への配慮が必要である。</li> <li>・ロイロノート等の活用について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→話すことを育てる教科として、どう育てるかが課題である。</li> <li>→主体性は話し合いの様子以外でも見取れるのではないか。</li> </ul> </li> <li>・スピーチについて             <ul style="list-style-type: none"> <li>→個人的配慮(録音・1対1)を行う。</li> <li>→スピーチの本質とはずれることが課題である。</li> </ul> </li> <li>・非認知能力を養う授業の工夫について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→話し合い(4人組)を多く設ける(席替え時に配慮しているため、特に配慮がなくても話し合いができてい</li> <li>る)。</li> </ul> </li> </ul>	

社会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料掲示を多く活用している。→生徒の反応を引き出す、意欲向上につながっている。</li> <li>・グループ活動を活用している。</li> <li>・節ごとの振り返り→正答率の向上につながっている。</li> <li>・投稿チャレンジ→書く力、まとめる力の向上につながっている。</li> <li>・話し合い活動(ディベート)は、生徒の意欲が高い。</li> <li>・日本諸地域の学習(九州～北海道)は、生徒の学習(個人で調べ、グループで共有、教員が解説)を主で、教員は最後1時間のみ)実施した。「力になった」と96.7%の生徒が感じている。</li> <li>・ニュースレポートは、他者に意見を伝える力、自分の考える力の向上に寄与している。</li> <li>・定期テストの振り返りは、学習内容の3行程度のまとめ、複数、記述させている。</li> <li>・授業ワークシートは、終わりのまとめを記述することを励行している。</li> <li>・ロイロノート→グループでの意見を出し合う。</li> </ul>	

数学	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に調べたりする」についての肯定的回答が下がっている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→学習の難易度が上がっているから。</li> </ul> </li> <li>・「グループ活動で説明できている」の肯定的回答が高い水準でスタートから継続し、よい活動ができている。</li> <li>・問題を解くと理解する力が上がると感じている生徒が多い。</li> <li>・話し合いや教え合いの活動が、効果が高いと感じている生徒が多い。</li> <li>・毎授業に振り返りを行う。</li> <li>・頭の中で主体的に考えている生徒をどのように評価するか。</li> <li>・数学は人生における様々な選択をするときの頭の中の考え方を練習している。</li> </ul>	

理科	
<p>&lt;良かった点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心を引く手立て。教科書に載っていないものもあった。</li> <li>・人体・栄養→給食につながった。日常生活でも理科の話をするようになった。</li> <li>・缶がへこんだ。反射神経の実験をした。</li> <li>・実験の取組、自分たちで役割分担をさせる。相談し合いながら、片付けを通して。</li> <li>・自信の第1歩は自分でやってみること。活動の機会を増やす。</li> <li>・自分の考えを書く時間を短い言葉でよいから書かせる。(2分でも)</li> <li>・隣の人に学んだことを自分の言葉で説明する。</li> </ul> <p>&lt;課題と対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学の少なさ。</li> <li>・アウトプットの時間を増やす→自信が付く。学習に向く。</li> <li>・調べ学習やトライ&amp;エラーの活動、探究活動を増やす。考える時間も。しかし、授業の時間数的に厳しい。</li> <li>・学習項目の中で、時間をかける箇所と内容を詰め込む箇所のメリハリを付ける。小出しにするのではなく、学習内容を詰め込む時間を作り、捻出した時間で探究活動を行う。</li> </ul>	

音楽	
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動、鑑賞活動、その他の創作活動などに前向きに取り組む生徒が多かった。</li> <li>・どのクラスも、パートリーダーを中心に、自分たちでパート練習を行うことができつつある。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜に記載されている記号や歌詞の内容を手掛かりに、どのように表現したいか等を個人で考えることはできたが、それをパートやクラスで共有し、表現活動につなげることができるような授業の工夫や活動を考える必要がある。</li> </ul>	

美術	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術という教科は生まれもって、絵の上手・下手という素地があるが課題に真剣に向き合い、よく考え、ねばり強く計画的に作業を行うことで良い作品を作ることができる。それは美術に限らず他の教科や仕事でも同じことが言えると思う。</li> <li>・テーマ(課題)に対し、どのくらいの時間が必要か。・自分の能力でできるベストな表現を構想する。 →よく考える。アイデア出しをたくさんする。構想をねる。</li> <li>・計画的に作業する(ふりかえりシート活用)・見出し、仕上げ・鑑賞・発表(他の人の表現を知り、いろいろな考えを認める)</li> <li>・生徒からのアンケートによると、テーマに対しアイデアを出す作業が美術以外の場面でも役に立ったという意見が多く見られた。また、限りある時間を意識し計画を立てて作業することを、非認知能力を高めるための手立てとして毎時間行った。ねばり強く、あきらめず取り組むこと、シンプルだけれど継続が難しいことを授業の中でコツコツとトレーニングしていくことで力が付いていくのではないかと考えている。</li> </ul>	

保健体育	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ練習では、他者と教え合いの中で、課題を自分事として捉え、技能の向上につながった。</li> <li>・オリエンテーションや本時の流れ・めあてを提示することで単元の見通しをたて、主体的に技能を向上させようという姿勢が見られた。</li> </ul>	

技術・家庭	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の製作活動で作業の見通しをもたせるために作業計画を立てさせた。 →生徒は見通しを以って作業をすることができた。(計画性)</li> <li>・グループでジグソー法やスライド制作を行った。 →グループ活動を通して、協力して作業を行うことができた。(協調性)</li> <li>・住みたい家を考えさせる活動を行った。 →活動を通して、身の回りの安全性に関して考えることができた。</li> </ul>	

英語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートの文法クイズやクイズレットでゲームを行い、興味・関心の高まりが見られた。</li> <li>・ESAT-J対策をして、A,Bの生徒が2/3以上だった。</li> <li>・小テスト(単語テスト等)を定期的に行うことで、学習へのモチベーションになった。お互いに単語の問題のクイズを出し合うなどした。</li> <li>・体を動かしながら、単語を覚える活動をした。2/3の生徒は効果があった。</li> <li>・自分達の取組や答えが合っているのか不安を感じている様子が分かった。そこに対して、丁寧に説明をしていることに対して、安心している様子が見られた。</li> <li>・取組に関して、積極的、前向きではあるが、受け身、もしくはより良い取組に自ら改善していく力が弱いように感じた。</li> </ul>	